

第55回全国大会のご案内

統一論題

グローカリゼーションにみる実践経営の新地平 ～祭りと実践経営～

大会実行委員長 伊佐 淳(久留米大学経済学部)

“出てきんしゃい、ほとめきの街 久留米へ”を合言葉に

実践経営学会第55回大会プログラムをお届けいたします。

本大会のテーマは、「グローカリゼーションにみる実践経営の新地平～祭りと実践経営～」です。

人々は祭りを通じて、地域における助け合い(共助)や地縁を再認識し、そこから地域文化を継承しつつ、地域に根ざした絆やもやい結びを意識するのではないかと思います。一方で、グローバル化の影響をますます受けるようになってきた地域企業にとって、地域の人々や文化やさまざまな資源に根ざした「グローカリゼーション」の考え方が重要度を増してきていると言えます。また、個々の企業経営の面から見ても、祭りから見い出せるものは、極めて大きいといえるのではないのでしょうか。

祭りの運営過程(企画・検討・実施・反省)は、企業経営でいうPDCAサイクルにあたるでしょうし、祭りの参加者・関係者のモチベーションの維持・向上と企業経営のそれとの共通するものがありそうです。成功する祭りの本質を考えることで、企業経営の本質に迫ることができるかもしれません。

そこで、記念すべき第55回大会を日本を代表する絵画の収蔵で知られる石橋美術館(有名画家が多数輩出)と豚骨ラーメン発祥地で有名な久留米市で開催し、その議論の場を提供することにいたしました。会員の皆様の自由闊達なご議論の展開を期待しております(大会の回数もGo Goと読めます)。

さて、本大会では、統一論題のために3本の柱を立てました。

第1の柱は、8月3日のエクスカッションです。統一論題を考えるにふさわしいユニークな経営の現場を訪ね、経営者の企業経営に対する考え方(“ものづくりは演歌だ”など)や手法をうかがいます。

第2の柱は、2日目の特別講演です。社長自ら農林漁業の現場へ飛び込み、地元生産者とネットワークを構築していくことで、関係者全てが“Win-Win”の関係になるような仕組み作りを実践されています。まさに“経営は祭りだ”を地で行くように、自社事業を繁栄に導いておられる地元の異色経営者の講演です。お二人の経営者共に筑後地域(久留米市を中心とした福岡県南部)の地域産業である第1次産業を軸に据えた「グローカル経営」を実践されていることが共通点となっています。

そして第3の柱は、伝統ある久留米市の一大イベント「第41回水の祭典・久留米まつり」(8月3～5日に開催)です。市中心部の明治通りや六角堂広場で市民あげて行われるマーチングやストリート・パフォーマンス、「1万人のそろばん踊り」など、さまざまなイベントが繰り広げられます。祭りの本質に触れるには体感が大変重要ですので、会員お一人お一人の目で、耳で、そして心で感じ取っていただきたいと思います。ここで不躰ながら、親近感をもっていただくために、この紙面をお借りして久留米弁の基礎を軽くご紹介しておきます。

●行く(くる)、とつても(がば)、～らしい(～げな)」、～でね(～さい)、「よく来られました(よー、こらっしやった)など。

■会期：2012年8月3日(金)～8月5日(日)

■メイン会場：久留米大学御井キャンパス

8月3日(金)

企業見学

株式会社 筑水キャニコム関連施設

CHIKUSUI CANYCOM,INC.

創業：1948年1月29日

創立：1955年12月9日

本社・工場：福岡県うきは市吉井町福益90-1

事業内容：農業用・土木建設用・林業用運搬車・草刈作業車及び
産業用機械の製造販売

資本金：3億4740万円 総売上高:43.5億円(2011年3月期)

従業員数：200名

企業理念:

幸せをはぐくみ、満足を運ぶ人間集団

- 一.私たちは、生活価値創造・草地機械及び運搬産業を目指す。
- 一.私たちは、独自の技術力とネットワークによる新時代創造力を発揮する。
- 一.私たちは、お客様の生活向上と地域社会の活性化貢献活動を推進する。

社名の由来:

1.創業者業績の確認

CANEYUKICOMPANY(包行氏の会社)のアルファベットの7文字を組み合わせたものです。「包行氏の創った、幸せをはぐくみ、満足を運ぶ企業」という意味を込めています。

2.企業イメージ目標の表現

CAN CARRY ANY COMMUNICATION(あらゆるコミュニケーションを運ぶ)のアルファベット7文字を組み合わせたものです。「独自の技術力とネットワークにより、新しい生活価値を創造し、運搬するお客様指向の企業体、人間集団」という意味を込めています。

トップメッセージ(一部)

包行 均

現在、地球規模での環境問題や災害等が深刻化し、21世紀の大きな課題となっております。今、キャニコムは農林業・建設土木・草地機械をはじめ、地球環境商品である“ジャスパーシリーズ(電気自動車)”、そして火災・地震・台風・水害などの災害時に、いつでも、どこでも発電できる“伝導よしみ”の提供をはじめました。私たちキャニコムがお届けする商品には、地球の環境と開発に大きな役割を果たす重要な使命があります。21世紀の地球に生きる人びとの暮らしがいっそう快適で、豊かな暮らしとなることを基本に新たにエコロジーや遊び心を忘れさせない“ものづくり”を念頭に事業を展開しております。キャニコムはこれからも皆様に“義理と人情”をおとどけし続けます。

12:40 JR久留米駅東口(時間厳守)

又は、

12:50 西鉄久留米駅東口(時間厳守)

13:00 西鉄久留米駅東口を出発
(チャーターバス)

14:00～16:00 見学

※当日参加、遅れての参加はご遠慮ください。

常任理事会 16:50～17:50

理 事 会 18:00～19:00

(久留米大学御井キャンパス御井学生会館3階ミーティングルーム1)

実践経営学会 第55回全国大会実行委員会

実 行 委 員 長

伊佐 淳 (久留米大学教授)

isa_atsushi@kurume-u.ac.jp

実行委員会事務局長

増山 正紀 (特定社労士)

jsam.kurume@gmail.com 電話0942-43-4868

大 会 実 行 委 員

柿本 義一

(実践経営学会九州支部事務局長・経営コンサルタント)

菊次 眞由美 (特定社労士)

須川 一幸 (株式会社 地域振興研究所)

柳 純 (福岡女子短期大学准教授)

宮脇 敏哉 (事業創造大学院大学教授)

大会プロデューサー

前原 寿代 (演劇ファシリテーター)

大 会 ス タ ッ プ

奥田 みどり、野田 裕子

8月4日(土) 自由論題報告

第一会場		座 長 大島 俊一(中部大学)		
		テーマ	報告者	コメンテーター
	10:30~10:55	川崎市の中小企業・ベンチャー企業が環境対応新製品開発をすることが可能かの研究	宮脇 敏哉 (事業創造大学院大学)	大島 俊一 (中部大学)
	11:00~11:25	静岡県エコアクション21認証登録企業における環境保全活動と組織マネジメント	角田 光弘 (拓殖大学)	平田 譲二 (産能大学)
	11:30~11:55	自動車メーカー間の統合志向の連携経営力における資源の共同利用と学習	李 在鎬 平野 実 (京都橘大学) (県立広島大学)	平田 譲二 (産能大学)
第二会場		座 長 横澤 利昌(ハリウッド大学院大学)		
		テーマ	報告者	コメンテーター
	10:30~10:55	中国における経営品質の概念認識に関する考察	原 婧 (日本大学大学院経済学研究科 博士後期課程)	横澤 利昌 (ハリウッド大学院大学)
	11:00~11:25	企業の生存率について 一和楽器分野の実証研究一	後藤 俊夫 (日本経済大学)	川野 祐二 (下関市立大学)
	11:30~11:55	国際的競争力のある大学の経営の仕組み 一ハーバード大学とオックスフォード大学一の比較一	平田 光子 (日本大学大学院)	村上 則夫 (長崎県立大学)
第三会場		座 長 水谷内 徹也(富山大学)		
		テーマ	報告者	コメンテーター
	10:30~10:55	ブランドの実践的活用	松井 温文 (追手門学院大学)	片上 洋 (新潟経営大学)
	11:00~11:25	マーケティングにおける価値共創の有効性に関する考察 一脱コモディティ化の視点を中心に一	金 琦 (東京国際大学)	日野 隆生 (大阪国際大学)
	11:30~11:55	製品開発プロセスに対するデザイン部門の関与に関する実証研究	菅野 洋介 柴田 聡 (東洋学園大学院) (東北大学大学院)	日野 隆生 (大阪国際大学)
第四会場		座 長 金子 義幸(関東学院大学)		
		テーマ	報告者	コメンテーター
	10:30~10:55	権威勾配の雇用管理への示唆	平野 賢哉 (東洋学園大学)	金子 義幸 (関東学院大学)
	11:00~11:25	転職による社会的適応性に関する現代的課題	小池 慎介 (港湾職業能力開発短大校横浜校)	丹羽 浩正 (八戸大学)
	11:30~11:55	「グローバル人材」に関する人事部門の定義と活動の認識	杉浦 正和 (早稲田大学大学院)	丹羽 浩正 (八戸大学)
第五会場		座 長 井形 浩治(大阪経済大学)		
		テーマ	報告者	コメンテーター
	10:30~10:55	コーポレート・アントレプレナーシップにおけるアントレプレナー的マインドセットについて	嶋田 美奈 (ハリウッド大学院大学)	井形 浩治 (大阪経済大学)
	11:00~11:25	日本における観光アートの研究	竹田 茂生 (関西国際大学)	藤田 紀美枝 (日本橋学館大学)
	11:30~11:55	リスクマネジメントの巧拙が株価に与える影響 一CSRからの視点を中心として一	土屋 博之 (高知工科大学大学院博士後期課程)	萩下 峰一 (山梨学院大学)

8月4日(土)

■ 開 会 挨 拶 12:45

実践経営学会会長・・・平野 文彦（日本大学）
久留米大学・・・山田 敏和 経済学部長
第55回全国大会実行委員長・・・伊佐 淳（久留米大学）

■ 統一論題報告・討議

◇ 分科会形式 13:00～14:20

[1] 介護分野

- ① 吉永 美佐子 氏（医療法人 楠病院理事長、NPO法人高齢者快適生活研究会代表理事）
- ② 堀江 利治 氏（いちょうの杜グループ 統括本部長）

[2] 環境分野

- ① 林 真一 氏（まるは油脂化学株式会社 代表取締役）
- ② 白仁田 裕二 氏（ファインフーズサービス株式会社 代表取締役）

[3] 地域おこし分野

- ① 原口 彰 氏（株式会社サンテ・コーポレーション 代表取締役）
- ② 松藤 富士子 氏（株式会社Bistroくるん 代表取締役）

◇分科会総括・・・伊佐 淳（久留米大学）

◇ 特 別 講 演 14:30～16:15

ベストアメニティ株式会社・代表取締役社長 内田 弘 氏

※ベストアメニティ株式会社:食品卸売業・レスト ラン事業・旅館業・農業事業。

「体にやさしい、おいしい健康」をテーマに、全国の生産者の協力のもと「雑穀米」など数々の商品開発し、「安心・安全な商品」の提供にまい進している会社です。

◇ 統一論題総括 16:00～16:15

実践経営学会会長 平野 文彦（日本大学）

■ 研究・情報交換会

17:00～19:00

（於・ハynesホテル久留米）

8月5日(日) 自由論題報告

第一会場		座 長	吉田 信一(富士大学)	
		テーマ	報告者	コメンテーター
	9:30～ 9:55	「中国第一村」華西村経済発展の光と影 一産業の変容を中心にして一	細沼 諒芳 (SBI大学院大学)	賈 軍 (仙台白百合女子大学)
	10:00～10:25	中国の石炭産業による環境汚染とその対策	賈 軍、浅野 浩子 (仙台白百合女子大学)	市川 一夫 (兵庫県立大学)
第二会場	10:30～10:55	中国内陸部における日系小売企業経営 一平和堂の異業態ビジネスモデル一	柳 純 (福岡女子短期大学)	市川 一夫 (兵庫県立大学)
		座 長	中垣 昇(名古屋経済大学大学院)	
		テーマ	報告者	コメンテーター
	9:30～ 9:55	コミュニティ・レストランのマネジメントに 関する事例研究	菅原 浩信 (北海学園大学)	田中 敬一 (近畿大学)
第三会場	10:00～10:25	中会社の会計情報における知的資産の意義	近藤 智也 (南山大学大学院博士後期課程)	村田 直樹 (日本大学)
	10:30～10:55	社会福祉法人会計の一元化	吉田 正人 (千葉商科大学)	村田 直樹 (日本大学)
		座 長	浅野 浩子(仙台白百合女子大学)	
		テーマ	報告者	コメンテーター
第四会場	10:30～10:55	3.11の体験・経営復興の実践と課題	菊池 真一 (北海商科大学)	浅野 浩子 (仙台白百合女子大学)
	11:00～11:25	被災地の復興とツーリズムの展望 一宮城県石巻市を事例として一	大森 信治郎 (石巻専修大学)	高橋 直也 (九州保健福祉大学)
	11:30～11:55	多様性の時代におけるリーダーシップと モチベーション	志村 光太郎 (NTTデータユニバーシティ)	高橋直也 (九州保健福祉大学)
		座 長	平田 光子(日本大学大学院)	
第五会場		テーマ	報告者	コメンテーター
	9:30～ 9:55	創薬技術の変化による医薬品産業への影響 一低分子化合物医薬から抗体医薬へ一	宮重 徹也 (富山高等専門学校)	寺石 雅英 (大妻女子大学)
	10:00～10:25	競争戦略の限界と戦略経営への転換 (中小製造業の海外進出を事例として)	今野 彰三 (東北大学大学院 博士後期課程)	寺石 雅英 (大妻女子大学)
	10:30～10:55	戦略形成・転換における経営者の認識に関する研修 一「支配的論理」の視点から一	大野 貴司 (岐阜経済大学)	平田 光子 (日本大学大学院)
第五会場		座 長	村上 良三(ハリウッド大学院大学)	
		テーマ	報告者	コメンテーター
	9:30～ 9:55		前田 修身 (国籍問題研究所 所長)	村上 良三 (ハリウッド大学院大学)
	10:00～10:25	慰霊観光をめぐる沖縄と本土の関係	寺石 悦章 (琉球大学)	岩田 智 (岩手県立大学)
第五会場	10:30～10:55	社内カンパニー制とコーポレート・ガバナンス ～カンパニー制の変遷とガバナンス機能の実証的考察～	小泉 修平 (大阪産業大学)	小原 久美子 (県立広島大学)

■ 会 員 総 会 11:15～12:30

■ フェアウエルパーティ 12:45～14:00

■ 地域ビジネス・リーダー懇談会 16:00～

統一論題発表者の地域ビジネス・リーダー6名の方々と懇談会を別会場にて5日16時より設定しておりますので、
ご興味のお有りの方はこぞってご参加ください。(会員の参加費は無料、要・事前申し込み)

5

- 久留米大学へは—

●JR久留米駅から

- ②タクシー10分又は、②西鉄バス「千本杉経由信愛女学院行、竹の子行、青峰団地行」(1・8・9・40・45・48番)で「久留米大学前」下車徒歩5分



■ 宿泊施設のご案内

福岡県久留米市内には駅近くに多くのホテルがありますので、各自、インターネット等でご予約ください。その際、実践経営学会員と伝えれば、「会員特別料金」にて利用できます。ただし、数に限りがありますので、各自、空室状況などをお問い合わせください。地元の活性化のために久留米での宿泊については是非ご協力をお願い致します。

【会員特別料金】

①久留米ホテルエスプリ(西鉄久留米駅徒歩1分 TEL0942-31-1300)

シングル(21.6㎡) 5,670円(税込)

※朝食なし宿泊(ご希望の場合は一食840円)

②久留米ワシントンホテルプラザ

(西鉄久留米駅徒歩5分 TEL0942-32-0410)

シングル(13.5㎡) 6,000円(税別) ※朝食付き宿泊

③東横イン久留米(西鉄久留米駅徒歩2分 TEL0942-35-1045)

シングル(12.5㎡) 5,480円 ※朝食付き宿泊

★上記客室タイプは、全て禁煙ルームです。

ご不明の点がございましたら、第55回大会事務局へお問い合わせください。

■ 大会参加費のご案内

①会員 参加費 6,800円

(ただし、6月末日までに振り込みの場合には5,800円)

②研究・情報交換会会費 6,000円

(ただし、6月末日までに振り込みの場合5,000円)

●振り込み先 実践経営学会全国大会実行委員会

同封の郵便局の払込取扱票をご利用ください。お早目のお振込みをお願いいたします。

発行日	2012年6月5日発行
発行所	実践経営学会(JSAM)
発行者	会長 平野 文彦
[本部]	日本大学経済学部 平野文彦研究室内 〒101-8360 東京都千代田区三崎町1-3-2
[本部事業部]	〒113-0033 東京都文京区本郷2-31-11-102 本郷経営労働研究所内 FAX:03-5684-8415 jasm.headoffice@gmail.com 事務局長 島田裕司
